

「東アジア社会における格差拡大と諸問題」を終えて

塚 田 広 人

今年度の東アジア研究科による東アジア国際学術フォーラムは経済学部との共催で以下のよう
に開催された。

(フォーラムのねらい)

現在、経済のグローバル化とともに、世界で格差拡大が進展し、貧困や社会的排除といった深刻な諸問題が各地で引き起こされている。これは、東アジア社会においても例外ではなく、それは東アジア社会共通の特徴を帯びつつも、各地域特有の社会状況下で様々な問題を起こしている。本フォーラムでは、日本、韓国、中国社会における格差拡大について、とくに社会的排除、雇用、医療の問題に焦点をあてて、その実態をそれぞれの地域研究者によって社会経済構造の深みから報告してもらうことを第一の課題とし、さらに、これらの問題に対して、各国政府がどのような社会政策を展開し、市民運動や労働運動がこれらの問題解決のためにどのような対案を提起しているのかも併せて学術的に見ていき、格差社会の問題解決の糸口を市民、学生、研究者とともに探ることをもう一つの課題とした。

(内容)

この趣旨のもとに、フォーラムは次の内容で2010年12月11日に山口大学共通教育棟2番教室(第1部～第4部)と山口大学経済学部第1会議室(第5部)において開催された。

第1部 東アジアにおける格差拡大と社会的排除 10:00～11:20

日本-岩田正美(日本女子大学人間社会学部)

韓国-チャン・ジョン(韓国労働研究院)

中国-嚴善平(桃山学院大学経済学部)

コメント:石井由里(山口大学教育学部)

コーディネーター:塚田広人(山口大学経済学部)

横田伸子(山口大学大学院東アジア研究科)

第2部 東アジアにおける非正規雇用の拡大と労働社会の変化 12:20～13:40

日本-遠藤公嗣(明治大学大学院経営学研究科)

韓国-ウン・スミ(韓国労働研究院)

中国-上原一慶(大阪商業大学経済学部)

コメント:野村正實(東北大学大学院経済学研究科)

コーディネーター:横田伸子(山口大学大学院東アジア研究科)

塚田広人(山口大学経済学部)

- 第3部 東アジアにおける健康格差と医療保障制度の課題 13:50~15:10
: 地域医療の視点から
日本- 福田吉治 (山口大学医学部)
韓国- ベク・ヨンギョン (韓国放送通信大学文化教養学部)
中国- 袁麗暉 (山口大学経済学部)
コメント: 辻正二 (山口大学人文学部)
コーディネーター: 松田昌子 (山口大学大学院医学系研究科)
- 第4部 パネルディスカッション 15:20~16:40
コーディネーター: 塚田広人 (山口大学経済学部)
横田伸子 (山口大学大学院東アジア研究科)
- 第5部 学術交流会 17:00~19:00

フォーラムへの参加者は日本各地からの研究者、山口市の市民、本学の学生ら164名であった。各部会では上記のように、東アジアの格差問題を多面的な視点からとらえることを目指して社会的排除、雇用、医療を焦点に活発な報告、コメントが行われた。

終了後、フロアの参加者からは、本フォーラムが東アジア、特に日中韓の格差問題を多様な視点からとらえる貴重な機会となったという感想が多数寄せられたが、反面、一つ一つの報告がそれぞれ非常に興味深いものであっただけに、それらを十分なディスカッションを通してさらに深く理解したかった、しかし時間的制約が大きなネックとなり、それが十分なしえなかったことは残念だったとの感想も多く寄せられた。この点は開催者側の今後に向けた反省点の一つである。

最後に、本フォーラム開催にあたっては、山口県医師会、山口大学教育研究後援財団、山口大学教育学部、同人文学部、同経済学部学術振興基金からの財政的援助ならびに山口県、山口市をはじめとした各種団体からの後援をいただいた。このことに対しあらためてここで関係各位に感謝申し上げたい。

2011年1月18日

(文責) 東アジア研究科教授・同フォーラム実行委員長
塚 田 広 人